

## 社会福祉法人松本ハイランド 行動計画

- 当社は女性職員が多い職場であるため、
  - (1) 職員が仕事と家庭生活（子育て含む）を両立させることができる環境づくり
  - (2) 妊娠・出産・育児・復職時における支援の取り組み
  - (3) 職員の能力が十分発揮できる働きやすい職場環境の整備
  - (4) 次世代育成、地域交流のため体験学習、ボランティア、職場実習等の積極的受入を実施できるよう、次のように行動計画を策定する。

1. 計画期間 平成26年 6月 1日～平成29年 3月31日までの 2年半

### 2. 内容

目標1： 妊娠中の女性職員の母性健康管理についてのパンフレットの更新、制度の周知を図る。

#### <対策>

- 平成23年 9月～ 制度に関するパンフレットを作成し職員に配布
- 平成26年 6月～ 職員の具体的なニーズ調査、母性健康管理についての情報収集。働き方に関する法律・制度・法人規程の周知。パンフレットの更新。以降継続実施

目標2： 妊娠中や産休・育休復帰後の女性職員のための相談窓口の維持・強化

#### <対策>

- 平成23年 9月～ 相談窓口の設置（ママ支援相談室）
- 平成26年 6月～ 委託コンサルと連携した相談員の研修、相談窓口の職員への周知（状況によっては直接コンサルに相談できる体制づくり）。以降継続実施

目標3： 全職員参加による、職員のライフスタイルに応じた新人事制度の確立（自主性・創造性の最大限の尊重、モチベーション・能力開発の促進、能力・貢献度に応じた処遇、透明性のある制度）

#### <対策>

- 平成24年 4月～ 制度の運用開始
- 平成26年 6月～ 職務基準評価制度運用上の問題点・課題の検討。将来の自分のあり方（どのような職員になりたいか。そのためにはどのようなスキルアップを望むか（職員研修体系作成）など）の検討。職員アンケート・面接による、より現実的・具体的な内容への更新・次年度以降への反映。以降継続実施

目標4： 若年者・近隣住民に対する積極的な就業体験機会・活動の場の提供。資格取得支援、学生実習の受入及び地域交流機会の増加

#### <対策>

- 平成24年 4月～ 各学校（中学校、養護学校、高校、短大、専門学校、大学）、職場、地域（ボランティアグループの育成）などへのアピール
- 平成26年 4月～ 地域支援担当者の配置。実習・体験学習・ボランティアなど受入開始。地域へ出向く講座の実施。実施状況の広報・法人ブログ等への掲載・アピール。以降継続実施